

インターネットで情報発信中



ホームページ



X (旧Twitter)
@Sakura__city



Instagram
@sakurasogoseisaku



ライン
@Sakura_city



YouTube
Sakura_city



観光ナビ

#撮っておき。さくら市



@bizo_co2kit さん

キラキラ池と青々した芝生と夏空がとっても爽やかな景色でした
#雲のある風景 #とっておきさくら市



詳細はこちら▲
皆さんの投稿をお待ちしています

「記録的な暑さ…」という表現が連日、さまざまなメディアをにぎわす季節になった。ひとたび、冷房の効いた場所から外へ出れば、一気に汗が噴き出す。そんな毎日が続くと、早く秋が待ち遠しいと思われる方も少なくないだろう。しかしながら、本市を含め、全国的にこの時期ならではの祭りやイベントも多い。老若男女問わず、それぞれのイベントを楽しみにしている方は少なくないだろうし、自分もその一人かもしれない。夏休み中の子どもたちも暑さ対策をしながら、楽しい思い出を作ってほしい。

本市に限らず、夏に行われている祭りのなかには、五穀豊穡や疫病を退散させることを願って行われてきた歴史もあり、それらを継承しつつ、地域のイベントとして定着し

第3回 風物詩



さくら市長 中村 卓資



ているものも多い。まさに今年は、米をはじめとする農産物の豊作、新型コロナウイルス感染拡大を契機に続くさまざまな感染症の消滅を願わずにいられないが、何よりこのうだるような暑さを忘れて、夏の風物詩を楽しみたいと思っている。

市政へのご意見をお待ちしています

- 市長へのメール
mayor@city.tochigi-sakura.lg.jp
 - 市長へのFAX: 682-0360
 - さくら市での暮らし懇談会 他
- 【問】総合政策課 ☎681-1113

SAKURA CITY MUSEUM INFORMATION

さくら市ミュージアム
— 荒井寛方記念館 —

開館時間 午前9時～午後5時
(最終入館: 午後4時30分)
休館日 4日、12日、18日、19日、
25～31日
問合先 ☎682-7123



ホームページ▲

戦後80年 テーマ企画

さくら市の銃後 ～喜連川小学校校務日誌に見る～

戦時下の苦しいくらしや出征した兵士への思いを千人針や爆弾破片などから、そして大きな影響を受けた子どもたちの学校生活を喜連川小学校校務日誌（市指定文化財）から紹介します。

身近な生活から「戦争」を見ることで、平和の大切さを伝えます。(常設展示室「戦時下の人々」コーナーで開催)



▲出征する先生を見送る児童たち



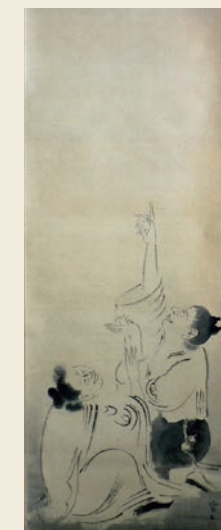
▲喜連川小学校校務日誌

夏休み 荒井寛方の作品に触れよう -展示作品紹介-

「寒山拾得」 見て！指先の向こうには...

「寒山拾得」とは、中国の唐時代に実在したといわれる伝説的な僧侶たちの名前です。寒山と拾得はいつも一緒に行動し、時にはケンカをしたり、ふざけたりしながら過ごしていました。実は、尊い仏の化身とも伝えられています。その謎めいた二人は、日本に水墨画の技法が伝わるとともに好んで描かれるようになり、各地に「寒山拾得」を題材にした作品が残されています。

荒井寛方の描いた「寒山拾得」は、拾得が長い爪で月を指さしています。しかし画面に「月」は描かれていません。指先をただ見つめているだけでは、本来見えるはずの月を見ることはできません。この絵には「目には見えないものを思い描き、真実を探究する」という教訓が込められています。その指先の向こうに、見えない「月」を思い浮かべてみましょう。



▲荒井寛方「寒山拾得」

TAKIZAWA FAMILY HOUSE INFORMATION

瀧澤家住宅

開館時間 午前9時～午後3時30分 (最終入館: 午後3時)
観覧料 一般100円、学生以下無料
休館日 3日、4日、12日、18日、19日、25日
問合先 ☎682-2176

下野手仕事会展

8月5日(火)～17日(日)

下野手仕事会は、地域の伝統工芸を守り、次世代に継承していくことを目的に、昭和49年11月に発足しました。今年も、県内の伝統的な技術を受け継いだ職人の作品が、瀧澤家住宅の歴史ある空間に集まります。

職人の技と美、作品に込められた心をご堪能ください。
期間中には、色々な伝統工芸を体験できるイベントも行います。

